

南相馬市原町区の朝日座を会場にした第五回朝日座映画祭は七、八の両日開かれる。

文化庁と東京国立近代美術館フィルムセンターの優秀映画鑑賞推進事業。朝日座を築しむ会、同庁、同センターの主催、

邦画の名作一挙上映

原町7、8日朝日座映画祭

オーエムシーの協力。外地」を上映する。

七日は午後一時半に「不知火検校」、同三時 券は四枚つづりで千五百半から次部長三回迄。円。

八日午前十時は「人生劇場 問い合わせは朝日座を場 飛車角と吉良節」、築しむ会 電話0244 同午後一時から「網走番 (23)5420へ。

鼓笛隊衣装を贈る

ポルドー音楽祭実行委など
榎葉北、南小児童39人分



和合会長(左)からユニホームを受け取る島君(中央)と諸橋さん(右)

音楽祭実行委員会と福島キウニスクラブは三日、榎葉町の榎葉北小(荒川秀則校長、児童数五十人)と榎葉南小(斎藤洋子校長、同四十三人)に鼓笛隊ユニホームをプレゼントした。贈呈式は両校が合同で学ぶいわき市の榎葉小・中学校中央台飯校校舎体育館で行われた。

が同校を訪れた。和合会長らが児童代表の島期太君と諸橋里々佳さんにユニホームを手渡した。斎藤校長が「鼓笛活動の励みになる」、松本幸英町長が「来年の運動会での演奏が楽しみ」と感謝した。

ユニホームは五、六年生三十九人分だといふ。島君が「練習に励んで鼓笛の伝統を守りたい」と歌った。

児童蒸気の推進力学ぶ

鹿島小で理科特別授業 南相馬



蒸気で進む船を水面に浮かべる児童

東京工業大のOB有アグループ「蔵前理科志をつくるボランティア」教室ふしき不思議(く

両校とも東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴い、町内の学校から楽器を持ち出せず本格的な活動は休止を余儀なくされている。活動再開を目指して今年度新たに楽器を購入し六年生が下級生に演奏を指導しているという。二十六年度は三年生以上を対象に「榎葉南・北小鼓笛隊(仮称)」を正式に発足させる予定。

らりか)は二、三の両日、南相馬市鹿島区の鹿島小で特別授業を

南相馬市民雄国山登る

登山家の田部井さんと

三春町出身の登山家田部井淳子さんとハイキングを楽しむ集いは八月三十一日、北塩原村の雄国山(二七一二)で催され、南相馬市民らが散策を楽しんだ。

田部井さんが代表を務めるNPO法人「日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト(HATJ)」と南相馬市立総合病院の主催、アルカの協力。N



P.Oの東日本大震災の被災地支援プロジェクト

行った。

同団体は理科の面白さを子どもたちに伝えようと全国各地で出張授業を行っている。昨年は全国で二百五十回約一万二千人を対象に実施した。

同校には四人の会員が訪れ、二日間四、六年生約百五十人が受講した。このうち、三日に行われた六年生の授業では牛乳パックとろうそくなどで作った船を水に浮かべ、蒸気の推進力で進む仕組みを楽しみながら学んだ。